

令和3年度 第6学年 学級経営案

担任 岡本 敏和

○学校教育目標

豊かな人間力を持ち、未来をひらく子どもの育成
～やさしく かしこく たくましい 西津を愛する子～

○学級の実態 児童数 男子18名 女子14名 合計32名

- ・男女を問わず仲がよい。 ・優しく素直な児童が多い。
- ・疑問に思ったことを担任や友達に訊くことのできる児童が多い。
- ・自分の思いや考えを発表できる児童が増えてきている。
- ・学級で協力して取り組む姿勢が育ってきている。

○こんな6年生に育てたい

- ・自分の考えを持ち、自分の言葉や行動で表現できる児童に。
- ・仲間と共に伸びていこうとする児童に。
- ・卒業の日に「この学級の一員で良かった」「この学校で学んで良かった」と思えるように。

○学級目標

一心不乱 ～一つに集中・今に集中～

○学級経営の努力点

〈人間性豊かな子〉

- ・学級の当番、係活動を充実させ、学級に貢献する喜びを感じさせる。
- ・定期的に話し合い活動を行い、学級の問題を児童の力で解決に向かわせるようにする。
- ・毎日学級全員で仲間のがんばりや成長を伝える（1日1人）メッセージカードを書き、互いを認め合う意識を高める。

〈自ら考え、学び合う子〉

- ・話し方・聞き方のルールを指導し、落ち着いた学習態度を育てる。
- ・国語辞典を積極的に活用し、児童自身の手で語彙を増やし、学びの素地作りをする。
- ・調べ学習や意見の交流、学習のまとめ（発表）等でICT機器を有効活用し、より深い学びを目指す授業作りをする。

〈心身ともに健康な子〉

- ・模範となる行動や望ましい行動を見かけたらすぐに褒め、向上的な変容を促す。
- ・体育的行事（体育大会、陸上記録会、持久走大会、など）の前には、個に応じた目標設定をさせ、自分の成長や達成感が感じられるようにする。

〈ふるさと大好き子〉

- ・いさりび学習（総合的な学習）で、地域の良さを学び、ふるさと西津を愛する児童を育てる。
- ・学びの成果を発表する場を設け、発言活動を通して、ふるさとに対する愛着を深める機会とする。

○家庭・地域との連携

- ・学級通信を定期的に発行し、学校生活の様子を保護者に伝える。
- ・いさりび学習を中心に、積極的に地域人材を活用し、児童と地域とのつながりを深める。